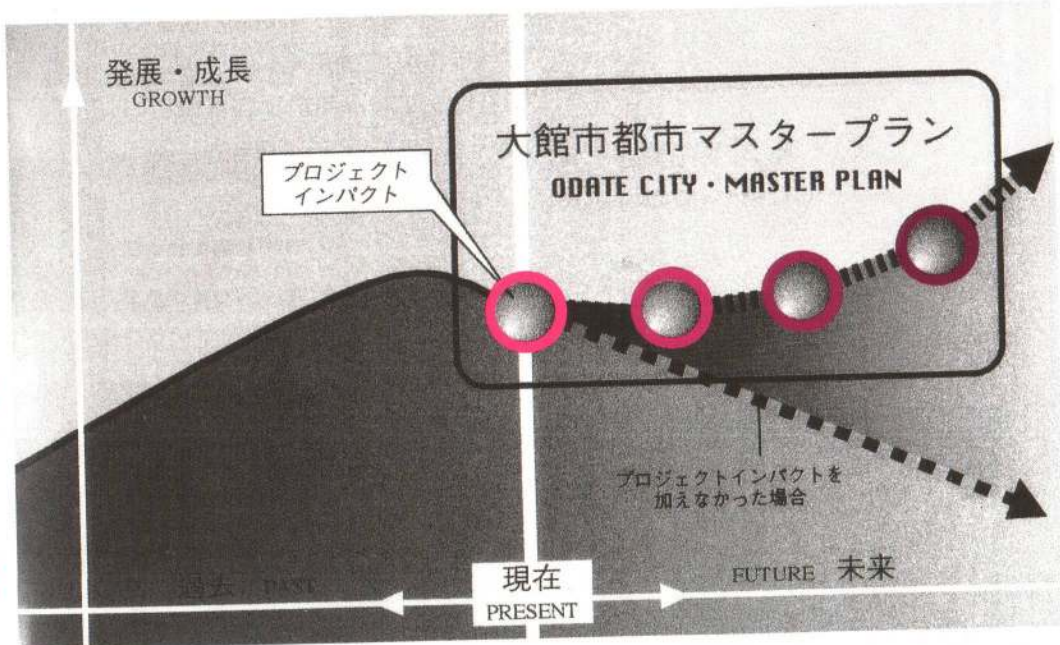


大館市都市計画

マスタープラン



市では、大館市の都市計画（まちづくり）を進めていくうえで基本的な方向を示す「大館市都市計画マスタープラン」を策定しました。

このマスタープランは、西暦二〇〇五年を目標としたもので、土地利用計画、交通整備計画、行政関連及びコミュニティ施設整備計画、住・生活環境整備計画、景観形成計画からなり、基本方針のほかに考えられる将来構想についてもできるだけ網羅されています。また、地区別の計画も策定し、市民の皆さんにとって身近で、具体的なプランとされています。

マスタープランの策定にあたっては、全市帯を対象としたアンケートや「市民と語る会」などでの意見、提言も参考にさせていただきましたが、これは一つの素案であり、これで決まったというものではありません。市民とともによりよい都市像を目指していききたいという考えから、今号よりこのマスタープランの概要を紙面の許す限り順次掲載しますので、これに対する建設的な意見・提言・要望等をお寄せください。

大館の概況

位置関係

北東北にあって秋田市、青森市、盛岡市という三つの県庁所在都市を結ぶ三角形の中心に位置しており、その立地を活かしながら、高い自立性を持ち、産業の質や人材的にも高い水準を維持することによって、外との対応関係をつくり上げていくことが要請されている。

産業の発展と都市活力

近年の社会・経済的な変化により、大館における基幹産業である農林業、あるいは鉱業が大きな転換を余儀なくされる状況にある。

さらに、高齢化が急激に進行する状況にあっては、中心市街地、郊外地それぞれにおいて、相互補完の関係を確保しながら、市民生活の安定性・安全性による安心感、また、利便性・快適性による満足感、充実感、ゆとり感の醸成を考えていかねばならない。

市の成立経緯

県北の中心都市として発展した大館町が、昭和二十六年四月に釈迦内村と合併し、大館市が誕生した。その後昭和三十年、昭和四十二年と町村合併によって現在の市

マスタープランの背景

域が形成された。したがって、今後の大館市の発展は過去十町村の存在を互いに尊重することによる、現十地区の有機的な連携・協力が重要である。

人口の推移

昭和三十年以降七万人台を維持してきた常住人口は、昭和四十三年をピーク（七万八千九百三十九人）に減少に転じている。平成二年度に策定された「第三次大館市総合開発計画」では、都市活力の維持を期待する計画人口として、平成十二年（西暦二〇〇〇年）時に七万五千人を想定している。一方、昭和六十年から平成二年までの変化を基準とする推計では、平成十二年に六万六千六百七十七人になるという値が出ており、期待値に近づけていくためには何らかの影響力のある施策が、継続的に行われていくことが必要とされる。

高齢化

高齢化の目安となる六十五歳以上の全人口に占める割合（高齢化率）については、平成五年七月一日現在で一七・五%となっており、既に「高齢社会」であることが認識できる。さらに、平成十二年（西暦二〇〇〇年）時には、これが二二・二%にもなると推計されるこ